

社協だより

みんながつくる みんなの福祉

2013.6.1

No. 31

横手市社会福祉協議会



『つながり』を財産に 安心して暮らせる地域づくりを

山内・小松川地区では、同地区の区長や福祉関係者を中心に、山内福祉センターと「住民支えあいマップ」を作成しています。情報交換などのマップ作成過程を通して、地域の福祉課題を把握することができ、これからの活動についても話し合いました。今後は、マップに地域の「つながり」を記入しながら、支えあい体制の更なる強化を図っていきます。(写真上は小松川地区 区長 山本實さん、写真右はマップ作成時の様子)



私たちは地域福祉を推進する団体です。

社会福祉協議会は「みんなが住み慣れたまちで安心して暮らせる」ために、様々な機関・団体、そして住民の皆様と連携・協働しながら福祉のまちづくりを進める民間団体です。社会福祉法に基づいて全国及び都道府県、市区町村に設置されています。



平成25年度の 主な活動

地域福祉 関係

地域福祉の推進

- 福祉ネットワーク事業
- ネットワーク活動の推進
- いきいきサロン事業
- 小ネットワーク会議の開催
- 住民支えあいマップの作成
- 福祉協力員活動推進事業
- 障がい児子育て支援事業
- 介護機器貸出事業

〈市受託事業〉

- ふれあい安心電話システム推進事業
- 障がい者・ボランティア事業連絡会議
- 輪気愛相スポーツ交流事業
- 声の広報・点字広報の発行

総合的な相談対応

- 心配ごと相談所事業
- 無料法律相談所事業
- たすけあい資金貸付事業



▲支えあい体制づくりに向けた座談会(大森)

地域の方と住民支えあいマップを作成(増田)▶

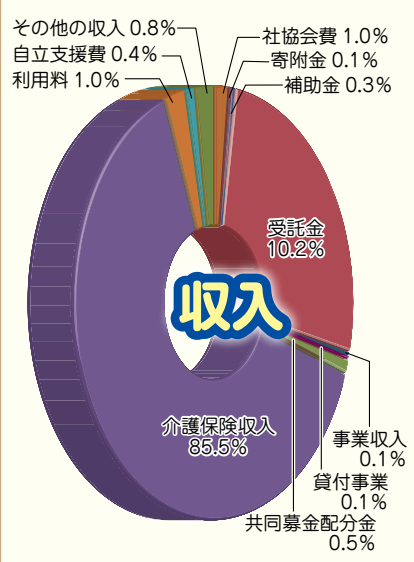
福祉ネットワーク事業



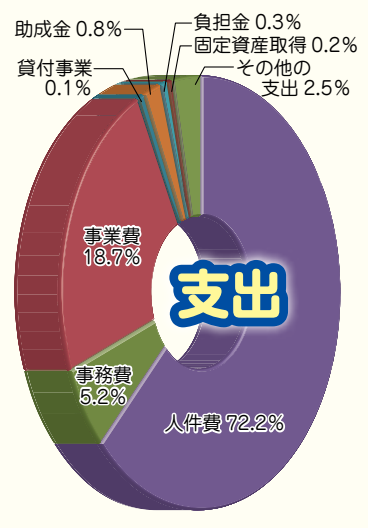
いきいきサロンや福祉座談会等を通して、地域の問題や福祉課題の把握と、住民同士のつながりや結びつきを深めながら、地域の見守りや支えあい体制づくりを進めます。

- 〈市受託事業〉在宅介護支援センター事業
- 〈県社協受託事業〉生活福祉資金貸付事務事業
- 地域福祉権利擁護事業
- 〈日常生活自立支援事業〉

平成25年度当初予算



科目	予算額 (単位:千円)
社協会費	18,250
寄附金	2,500
補助金(市からの補助金)	5,302
受託金(市及び県社協からの受託金)	187,305
事業収入(各種事業の参加費等)	1,068
貸付事業(たすけあい資金償還金)	2,000
共同募金配分金	9,628
介護保険収入	1,577,878
利用料(ミニデイサービス利用料等)	18,026
自立支援費	7,310
その他の収入(前期未繰越金等)	15,208
合計	1,844,475



科目	予算額 (単位:千円)
人件費	1,331,141
事務費	95,826
事業費	344,242
貸付事業(たすけあい資金貸付金)	2,000
助成金(いきいきサロン、福祉団体等)	14,943
負担金(各種会議、研修負担金等)	5,461
固定資産取得支出(厨房用エアコン等)	3,950
その他の支出(職員退職積立金等)	46,912
合計	1,844,475

基本理念

本会は、住民の参加と公私協働による「誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり」を目標として活動に取り組みます。

基本方針

1. 私たちは、住民と共に、地域における福祉課題の把握と解決に努めます。
1. 私たちは、サービス利用者の人権を尊重し、質の高い福祉サービスの提供に努めます。
1. 私たちは、地域におけるあらゆる団体・組織との連携を図り、総合的な支援体制づくりに努めます。
1. 私たちは、地域福祉を推進する民間団体として、自らの専門的役割と責務を自覚し、自己研鑽に努めます。



昨冬の除雪ボランティア活動(山内)

除雪ボランティア事業

自力での除雪が困難な高齢者世帯等に対して、除雪ボランティアを派遣して冬期間の安全確保に努めると共に、市民や学校、企業等に活動への参加を呼びかけ、ボランティア意識の高揚を図ります。

- 生きがいづくり・介護予防
- かいご教室の開催
- 〈市受託事業〉
- 自立者支援通所事業 (ミニデイサービス)
- 家族介護者交流事業
- ボランティア活動の推進
- ボランティアセンターの運営
- 除雪ボランティア事業
- よこて父ちゃんの楽校の開催

- 訪問介護事業
- 通所介護事業
- 居宅介護支援事業
- 訪問入浴介護事業

介護保険等事業

在宅福祉 関係

- 社協だよりの発行
- 社協会員拡大運動
- 社会福祉大会開催事業
- 地域福祉活動計画策定事業
- 地域福祉活動への参加促進
- 共同募金運動への協力
- 横手市共同募金会への協力

福祉団体の支援

- 福祉団体の事務
- 福祉団体助成金交付

福祉教育活動の推進

- 福祉教育活動推進支援事業
- 福祉標語事業
- ふれあいの手紙事業
- 福祉出前事業

- ふれあいフェスティバルの開催
- 災害ボランティアセンターの運営

- 市施設の管理・運営
- デイサービスセンター 康寿館
- デイサービスセンター 雄風荘
- 十文字町健康福祉センター
- 山内ほっとパレスゆうらく館
- 大雄地域福祉センター
- 特別養護老人ホーム平寿苑
- 特別養護老人ホーム雄水苑
- 特別養護老人ホーム憩寿園

市施設の管理・運営

指定管理 関係

- 〈市受託事業〉
- 高齢者生活管理指導員派遣事業
- 障がい者訪問入浴事業
- 障がい児者デイサービス事業
- 移動支援事業 (障がい者)
- 移送サービス事業

通所介護事業所

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」その想いが実現できるよう、ご利用者のニーズや状態に合わせながら、健康チェックや入浴、レクリエーション活動、季節の行事等によるサービスを提供します。



レクリエーション活動の様子(十文字)

職員数
(平成25年5月1日現在)
441名

事務局長	1名
事務局次長	1名
本部総務課	9名
本部地域福祉課	6名
横手福祉センター	80名
増田福祉センター	5名
平鹿福祉センター	8名
雄物川福祉センター	26名
大森福祉センター	12名
十文字福祉センター	44名
山内福祉センター	9名
大雄福祉センター	26名
平寿苑	77名
雄水苑	82名
憩寿園	55名



十文字

ふれあい農園に 強力“助っ人”登場!

増田高校生徒が農園事業に協力

十文字町健康福祉センター内にある「ふれあい農園」の活動に、今年度から増田高等学校農業科学科（野菜部）の生徒と先生が、ボランティアとして参加してくれることになりました。

早速、5月7日(火)・9日(木)には、農園の石拾いや土壌づくりの作業を行うなど、地域の方々との苗植えに向けた準備にご協力いただきました。

実際のところ、管理に苦慮している面もありましたが、年間を通しての協力にとっても心強く感じています。若いパワーが注がれた農園に、元気な花や野菜が実る日が待ち遠しい今日この頃です。



農園活動に若いパワーが加わり、いつも以上の収穫が期待できます。

山内

介護保険のいろはを学びました

介護保険の基礎講座



質問が相次ぎ終了予定時刻を超過するなど、皆さんの真剣さが伝わってきました。

高齢化が進み、介護を必要とする方も増加している中、山内福祉センターでは介護に関する知識や理解を深めていただくため、4月30日(火)に「介護保険の基礎講座」を開催しました。

当日は18名の方にご参加いただき、介護保険サービスの内容等について学びました。講師の説明に耳を傾ける一方で、サービスの利用申請方法など、積極的に質問されていました。

次回の要望として「介護実技講座」や「高齢者疑似体験」などが出され、今後も各種講座等を通して、地域で安心して暮らせる生活を応援していきます。

会場	実施日(毎週)	実施時間
いきいき館(横手)	火・水・木曜日	10:00~15:00
老人憩の家(増田)	木曜日	9:30~15:00
ゆとり館(平鹿)	木曜日	10:00~15:00
交流センター雄川荘(雄物川)	月~金曜日	10:00~14:00
大森健康温泉	火曜日	10:00~14:30
幸福会館(十文字)	火・金曜日	9:30~15:00
農家高齢者創作館(十文字)	水曜日	9:30~15:00
山内ほっとパレス(ゆうらく館)	火~土曜日	9:30~15:00
大雄地域福祉センター	水・金曜日	9:30~15:00

※祝祭日、年末年始期間は休みとなります。
※実施時間に送迎時間は含まれていません。

◆利用方法 申請窓口は各地域局福祉担当課になります。なお、内容等は各福祉センターへお問い合わせください。

◆(昼食代・入浴代含む)

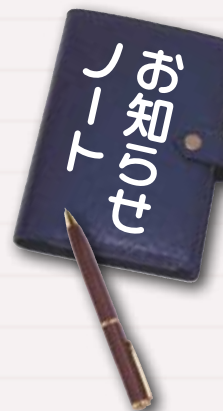
◆利用料 一回・五〇〇円
た方や自立に相当する方で、概ね六〇歳以上のお一人暮らしの方など

◆(送迎も行っています)
◆対象者 市内に住所を有し、要介護認定で自立認定を受け

教養・趣味活動や健康づくり、昼食、入浴等によるミニデイサービスではご利用者を募集しています。



健康・生きがいづくりを応援
自立者支援通所事業
(ミニデイサービス)





わたしの
まちの

いきいきサロン

4.23火



雄物川

旭松・回館いきいきサロンでは、市消防本部の職員を講師に迎え、119番掛け方講習と火災警報器や消火器の使い方を学びました。

5.7火



大 雄

精兵村いきいきサロンでは、保健師による血圧測定と世話人自身が講師となつての高血圧予防の勉強会を行いました。

5.13月



平 鹿

新町いきいきサロンでは、笑いで「元気になるう」と講師に辻田与五郎さんを迎えての漫談が行われました。

横 手

“福祉のこころ”を結集して

旭小学校ボランティア委員会が歩行器を寄贈



児童から寄贈された歩行器を手にニコリ。皆さん大変喜んでいました。

今年3月、康寿館に旭小学校ボランティア委員会より「歩行器」2台が贈呈されました。

同委員会では、地域の方々と一緒に取り組んだ「アルミ缶回収」の収益金のほか、よねや商事株式会社で展開している「買物袋持参運動」を活用し、今回の寄贈となったものです。早速、ご利用者に歩行器を使っていたところ「軽くて使いやすい、ありがたい」と大変喜んでいました。

今後も、同委員会では活動を継続し、福祉施設等に寄贈していく予定です。

ふれあいコールボランティアを募集

山内福祉センターでは、安否確認等を目的に、お一人暮らしの高齢者への電話による訪問活動を行っており、一緒に活動してくださるボランティアを募集しています。

◆活動日 毎月一回／一時間程度
※活動日時はボランティアの都合に合わせて調整

◆活動場所 山内ほっとパレス ゆうらく館

◆お問い合わせ 山内福祉センター
☎53-3009 (担当：川越)

施設ボランティアを募集

社協が運営する特別養護老人ホームでは、各種ボランティアの受け入れを行っています。活動を希望する方は、各施設へお問い合わせください。

◆活動内容 行事やレクリエーション活動のお手伝い、花植え、除草活動、車イスの清掃、演芸披露、特技を活かした指導など

※施設によって募集内容が違う場合もあります。

◆お問い合わせ

平寿苑 ☎38-7011 (担当：黒澤)
雄水苑 ☎22-4561 (担当：大庭)
憩寿園 ☎42-2510 (担当：加藤)

車イスをお貸ししています

寝たきりの高齢者や障がい者の方などのご家庭で、他から借りることが困難な場合に、一時的に車イスをお貸ししています。最寄りの各福祉センターへお問い合わせください。

ふくしの窓

東部指定訪問介護事業所

笑顔と真心を込めてサービスをお届けします



東部指定訪問介護事業所は、横手地域と山内地域で訪問介護サービスを提供している事業所です。職員の約9割が5年以上の経験を持つベテランであり、中には10年以上の“大”ベテランも…。経験年数に甘んじることなく、国家資格「介護福祉士」を約7割の職員が取得するなど、ご利用者に質の高いサービスを提供するために、日々、研鑽を積んでいます。

また、ご利用者や介護されているご家族の要望に応えるべく、早朝や夜間にも可能な範囲で対応させていただいているほか、介護保険以外に障害者総合支援法によるサービスも提供しております。

皆様に元気をお届けする、笑顔や笑い声にあふれた明るい事業所です。



ご利用者の田中清様(写真中)、律子様(写真左)ご夫婦と

ご利用者様のご家族 田中律子様(横手)よりお手紙をいただきました。

私一人の力では不安になり、入浴介助をお願いしてから、もう1年になりました。ヘルパーさんたちがとても良くしてくださるので、すっかり打ち解けて、来てくださるのをいつも心待ちにしています。

不自由なことが多くなる中で「週3回の入浴」が、今の主人の楽しみとなりました。長いお付き合いになるとと思いますが、これからもよろしくお願いたします。

■所在地…横手市卸町5番10号 ■電話…33-8668 ■FAX…33-8778
 ■営業日…通年365日 ■営業時間…6:00~22:00 ■職員数…26名

五月十五日(水)広報委員会での一コマ。この広報紙の発行について委員の皆様と意見を交わしました。



社協職員のある一日

地域福祉活動日記

本部 地域福祉課 佐藤 司

今年四月、人事異動等による新体制に戸惑う暇もなく、平成二十五年度の活動がスタートしました。年度初めは、関係機関・団体等との会議や事業の更新手続きなど、どうしても事務作業が多くなつてしまいが、その分、人と接する機会が増える時期でもあります。

私自身も様々な方と顔を合わせて、今年の方針について協議したり、新たな生活の中で不安を抱えられている方の相談にも対応させていただいたり、既に多くの方々と接しています。そして、今年度は地域福祉活動の指針となる

「地域福祉活動計画」策定の準備初年度であり、これからどんどん皆様と接する機会も多くなります。人との出会いを大切にすることが大切にし、それに応えられる社協であるために、口よりも顔と体を働かせていきたいと思えます。

社協の活動は、日々、のよつなものであり、なかなか地域に見えにくいものではありませんが、少しでも私たちの活動を知っていただきたく、今後、職員の具体的な動き(業務内容等)を紹介させていただきます。

善意

ありがとうございました

平成25年3月1日～4月30日受付分

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。
※「善意」の受付は、横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

【横手福祉センター受付】

- 旭小学校ボランティア委員会様
- 鳳中学校生徒会様
- 立正佼成会横手教会法輪クラブ様
- よねや南店様
- 春日正子様(城南町)
- 村上陸様(寿町)
- 斉藤フミ様(大屋新町)
- 安藤詔子様(上真山)
- 鈴木由紀子様(平鹿・浅舞)
- 佐藤良子様(南町)
- 黒崎由紀様(朝倉町)

【増田福祉センター受付】

- 石橋哲男様(上町)

【平鹿福祉センター受付】

- 宥佐藤養助平鹿工場様
- 平鹿地域老人クラブ連合会様
- 佐藤次男様(蔭沼)
- よねや浅舞店様
- 醍醐婦人会様

【雄物川福祉センター受付】

- 坪井幸子様(新丁)

【十文字福祉センター受付】

- 高橋正人様(平鹿・浅舞)

- アンサンブル・リベラ様

【山内福祉センター受付】

- 平山新一様(大畑)

【平寿苑受付】

- 柴田ヒデ様(吉田)
- 傾聴ボランティアささやき様
- 新日本舞踊扇佳流様

【雄水苑受付】

- 船沼婦人会様
- JA秋田ふるさと
女性部雄物川支部様
- 雄物川地域
老人クラブ連合会女性部様

- 雄物川地域づくり協議会様
- 傾聴ボランティアひまわり様
- 昔語りボランティア
とっぴんぱらりのプー様

【憩寿園受付】

- 土谷清一様(館前)
- 梨木婦人会様
- 十文字地区婦人会様
- JA秋田ふるさと
助け合い組織 ほのぼの会様
- 睦合婦人会様
- 傾聴ボランティアささやき様
- 資生堂(株) 東北支社
秋田オフィス様



新日本舞踊扇佳流様による芸能披露



雄物川地域づくり協議会様から寄贈された「雄物川カルタ」

次号(8月1日発行)

テーマは…「家族」

夏休み、里帰り、そしてお墓参り。家族がそろい、家族を尊ぶ時期にちなみ、次号のテーマは「家族」です。

【応募方法】 市内在住の方ならどなたでもご応募できます。作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072 横手市卸町5-10
横手市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係

FAX: 36-5388
e-mail: tiiki@yokote-shakyo.jp

◆締切日: 平成25年6月28日(金)

【広報掲載】 ご応募いただいた作品の中から数点を選考し作品、氏名等を掲載いたします。

ご応募ありがとうございました

ペンネーム 上丁花子さん/大雄

一、ミニデイで笑顔・おしゃべり元気です

ペンネーム 小野 良 子さん/十文字

一、負けちゃうよ九十すぎてもこの元氣

ペンネーム 原田アマチャンさん/大森

一、温泉ではだかの付き合いい元氣だす

ペンネーム 小野 良 子さん/雄物川

一、ミニデイで笑顔もらって元氣でる

三塚 キン子さん/増田

一、子が帰り一気に元氣百ワツト

三塚 キン子さん/増田

一、老いて今おしゃべり目標元氣湧く

テーマ
元氣

たくさんのお応募作品の中から六点をご紹介します。(順不同)

福祉を詠めば福来たる
ふくし川柳

ふくしな人たち

よねや商事株式会社

社協特別会員・共同募金協力企業の活動から



「地域社会に良さと安さと誠意を」のスローガンのもと、食品スーパーマーケットチェーンとして県南部に9店舗を展開する『よねや商事株式会社』様の活動をご紹介します。

昭和31年創業の同社では、創業20周年などの節目ごとに各種の地域貢献活動を実施しており、横手市に「よねや育英資金」や市内小中学校図書購入費を寄贈するなど、児童生徒の健全育成に貢献されています。

また、平成3年には今では一般的になった食品トレイ

の回収にいち早く取り組まれたほか、平成8年からはボランティア清掃活動にも取り組んでおり、毎月第1日曜日に各店舗周辺の清掃活動を行っています。

今号5ページの記事にも掲載されていますが、平成14年に始めた「買物袋持参運動」は、買い物の際にマイバックを持参したお客様にシール1枚を配布し、店内のポスターに明示された地域のPTAやスポーツ少年団、ボランティア団体等（事前登録）の欄にシールを貼ってもらい、このシールが400枚集まると、その団体に2,000円が贈られるという仕組みで、運動開始から現在までに贈られた金額は約800万円にもなっています。

運動開始当初、お客様からは、自身ではなく地域に還元されることに対して様々な意見がりましたが、現在ではこの運動が浸透し好評を得ており、地域貢献活動の一環として確実に地域に根付いています。



店舗周辺の清掃活動の様子



買物袋持参運動のシールが貼られたポスター

今回の取材にご協力いただいた同社販促企画室 室長の山口真也さんは「地域の皆様あつての我々の商売なので、お客様の声が一番だと考えています。各店舗をお客様自身の家の冷蔵庫だと思っていただき、遠慮なく意見を聴かせていただきたいし、色々教えていただきたい。それを活かして、また新たな商品やサービスにつなげていきたいと思います」と語ってくださいました。

一昨年の震災では、被災地での炊き出しや交流活動などを行った『よねや商事株式会社』様。長年にわたり多くの活動を続けられている同社の今後益々の活躍が期待されます。

地域で福祉活動や地域貢献活動などを行っている個人、団体、企業等の情報をお寄せください。掲載数等により紙面の大きさが変わることがありますが、皆様の活動を紹介させていただきます。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377
横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072
大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009

大雄福祉センター TEL.52-3311
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388

E-mail shakyou5@agate.plala.or.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>